

**第25回記念テレワーク推進賞 ～多様な働き方大賞～
受賞企業・団体を決定 2024年12月9日(月)に表彰式を開催**

https://japan-telework.or.jp/news/newsrelease_20241108/

一般社団法人日本テレワーク協会（会長：栗原 博、所在地：東京都千代田区、以下日本テレワーク協会）は、この度「第25回記念テレワーク推進賞～多様な働き方大賞～」の受賞企業・団体を決定しました。

日本テレワーク協会は、ICT（情報通信技術）を活用して場所や時間にとらわれない柔軟な働き方である「テレワーク」の普及促進を目的に「テレワーク推進賞」表彰事業を2000年から継続して実施しております。

四半世紀の節目を迎えた今年度は「人とデジタルのコラボで多様な働き方ってありかも!」をテーマに YouTube 動画による応募を受け付け、テレワーク推進賞審査委員会（委員長：比嘉邦彦 東京工業大学名誉教授、一般社団法人 日本テレワーク学会 特別顧問）により厳正に審査を行った結果、日本情報通信株式会社に会長賞を授与することとしたほか、合計8組の企業・団体の授賞を決定しました。

今回の決定を受けて、2024年12月9日(月)「JTA アニュアルカンファレンス」において表彰式を開催し、受賞者表彰と事例発表を行います。また第25回記念イベントとして、過去受賞企業、審査委員長、日本テレワーク協会会長による「プレミアムトーク」を開催いたします。

【第25回記念テレワーク推進賞 受賞企業・団体一覧】

■会長賞 日本情報通信株式会社

■実践部門
優秀賞 東洋通信工業株式会社
奨励賞 株式会社 Colors
奨励賞 ネクスキャット株式会社
特別賞 フジ住宅株式会社

■普及貢献/ビジネス創出部門
優秀賞 岡崎市
奨励賞 株式会社 HQ

■ユニークな取り組み部門
ユニーク賞 株式会社シーエーシー

※ 上記企業・団体は各カテゴリ内、各賞内で50音順になっております。

【第25回記念テレワーク推進賞 表彰式概要】

- 日時：12月9日(月) 13:30-17:00
- 会場：大崎ブライツコアホール（東京都品川区北品川5丁目5-15）
リアル開催（後日 YouTube 配信）
- 詳細・参加お申込み

https://japan-telework.or.jp/jta_annual_conference_2024/

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本テレワーク協会「テレワーク推進賞」事務局 担当：関 / 三浦

TEL 03-5577-4572 携帯 080-7723-6261

e-mail suishinsyo@japan-telework.or.jp

【第25回記念テレワーク推進賞 受賞理由】

会長賞

企業・団体名	日本情報通信株式会社 (東京都中央区 代表取締役社長執行役員 桜井 伝治)
応募タイトル	「ハピネス経営」を支える ハイブリッドワークスタイルへの取り組み
受賞理由	<p>1. ハピネス経営（社員、お客様、社会の幸せ）を掲げるなか、テレワークが単なる働き方の手段ではなく、従業員エンゲージメントを高めるための戦略的な施策として導入されており、テレワークの戦略的取り組みの効果が他の模範となる。</p> <p>2. トップの率先垂範により具体的な施策の展開が着実に成果につながっており、特に多くの企業・団体が課題とするコミュニケーションの課題について改善が顕著である。また、各施策の効果は従業員エンゲージメント調査で検証されており、「働きやすい環境と働きがいの実現」達成のための施策に持続性が感じられる。</p> <p>3. 多様で柔軟な働き方、ハイブリッドワークでの健康管理、ハイブリッドでのコミュニケーションの各施策によりテレワーク利用率は80%以上を継続している。またフレックスタイム制度やテレワークの活用による自律的な働き方がエンゲージメント向上につながるという考えが社員の共通認識となっており、その活動は広く社会へ波及が期待でき、会長賞に値すると評価された。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=T9COS7qjMAk</p>

■ カテゴリ別受賞企業・団体

実践部門 優秀賞

企業・団体名	東洋通信工業株式会社 (東京都新宿区 代表取締役社長 六車 徹)
応募タイトル	中小企業でもできた オフィス・働き方改革の実践による 社員モチベーションと生産性の向上
受賞理由	<p>1. 中小企業における生産性向上とモチベーションアップを実現した模範的な活動であると評価された。2020年からテレワークを本格導入し継続した働き方改革により、残業の減少、有給休暇取得の増加、女性社員比率の増加、離職率の低下等就業環境の改善に成功しており社内環境の改善が業務の効率性と従業員の働き方に良い影響を与える好事例となっている。</p> <p>2. 中小企業である自社の持続的な取り組みを積極的に開示し、3,200社/5,300名が同社を視察見学しておりテレワーク、働き方改革の普及に貢献している。</p> <p>3. テレワークを実践の成果について、複数の指標を用いて具体的に検証している。また、成功要因が整理され、さらなる改善を誘発しており、その活動実績は優秀賞に値すると評価された。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=81boxyuL-EA</p>

実践部門 奨励賞

企業・団体名	株式会社Colors (東京都中央区 代表取締役 角前 壽一)
応募タイトル	370名の業務委託スタッフ全員がテレワークで業務支援
受賞理由	<p>1. 同社は370名のスタッフ全員がテレワークで顧客の業務支援を行っているが、スタッフの孤立感解消やチームワーク向上、業務進捗の可視化などの課題をICTツールの活用や独自の交流プログラムで解決している。その上でオフィス固定費や管理コストを削減しながらきめ細かいサービス提供を実現している。</p> <p>2. 自社のノウハウを活用、サービス化することによりテレワーク導入が難しい業種、企業へもテレワーク導入を促進し新しい働き方の拡大につなげている。</p> <p>3. 6年間で600社が導入し、毎月20名のスタッフの増加を達成し続けており、人手不足解消と育児期の就労課題を解消し、その事業モデルが社会課題の解消に貢献していると評価された。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=9a5SUMS-34o?si=Y3dyv9SRHA4cC2i0</p>

実践部門 奨励賞

企業・団体名	ネクスカット株式会社 (東京都豊島区 代表取締役社長 千歳 紘史)
応募タイトル	人口減少社会の課題を「幸せに働く」で解決する！
受賞理由	<p>1. 海外を含むオールリモートや稼働時間の自由度を高めたウルトラフレックスにより、従来就労が難しかった人材を活用した新しい働き方を実現し人材不足の解消にもつながっている。</p> <p>2. 地方在住者による半農半Xを可能にするなど働き方の多様性を創造し、地方活性化にも寄与。テレワークにおける柔軟な労働時間管理が育児・介護の社員を活かす確かな実績は、他の企業・団体への波及性が高いと評価された。</p> <p>3. 創業以来成長を続けており、柔軟な働き方の実践、地方創生への貢献、人口減少社会への対応等社会性が高く今後のさらなる発展が期待され奨励賞とした。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=kggbn1Ci3MI</p>

実践部門 特別賞

企業・団体名	フジ住宅株式会社 (大阪府岸和田市 代表取締役社長 社長執行役員 宮脇 宣綱)
応募タイトル	社員と社員の家族のためのテレワーク活用
受賞理由	<p>1. 2017年度からテレワークを本格導入し、「社員と社員の家族のためのテレワーク」の理念の基、障がい者支援、社員の事情に合わせた多様な働き方を高いレベルで持続しており、その粘り強い継続性が高く評価された。</p> <p>2. テレワーク推進賞の受賞経験を持つ同社ではあるが、自社でのテレワークの実践にとどまらず協力会社を巻き込んだIT化で住宅事業に欠かせない施工管理情報や現地査定業務の改善等の効率化を進めており、今後の拡大が望まれる住宅建設現場でのテレワーク活用を実感させる活動である。</p> <p>3. 同社の取り組みは働きやすい社会の実現に貢献するものであり、他の企業が見習うべき事例であることから特別賞にふさわしいと評価された。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=QB0mWgpIS0w?si=it2Qxsr4KRczXToU</p>

普及貢献/ビジネス創出部門 優秀賞

企業・団体名	岡崎市 (愛知県岡崎市 市長 内田 康宏)
応募タイトル	岡崎市テレワーク就労支援事業
受賞理由	<p>1. 官民連携を通じた施策として実施されている「地域企業と就労希望者を繋ぐ仕組み」は実効性のあるテレワーク推進策として機能しており、テレワーカーの育成、官民連携の就労継続支援、環境整備の総合的な取り組みはテレワークの普及に貢献する取り組みとして評価され、当カテゴリでの授賞となった。</p> <p>2. 同市のテレワーク支援は、地域の人材不足解消という課題に対する具体的な解決策として機能しており、行政が政策目標を共有し地域企業やテレワーカーの知見を積極的に活用することで、効率的かつ持続可能な地域の活性化を実現している。</p> <p>3. 地域独特の就労に関する課題を民間とも連携し総合的に対策を推進していることは他の自治体への波及性が高いものと評価された。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=TSMTR8eU22I</p>

普及貢献/ビジネス創出部門 奨励賞

企業・団体名	株式会社HQ (東京都港区 代表取締役 坂本 祥二)
応募タイトル	テレワークの課題を解決し、社員一人ひとりに最適なテレワーク環境を提供する「リモートHQ」
受賞理由	<p>1. リモートワークに特化した福利厚生サービスとコンシェルジュのシンプルなビジネスモデルは、リモートワークの普及に伴うニーズに応えている。社員ごとに「異なるテレワークの課題に平等に向き合う」という新しいサービスモデルは魅力的である。</p> <p>2. テレワーク環境整備は従業員に任せるものでなく、企業の責任であることを前提とし、「コストではなく人への投資である」とするメッセージは共感性が高いものであった。</p> <p>3. 100社を超える多種多様な業界・規模への導入実績と、実際の利用者の満足度の高さからさらなる成長への期待を込めて奨励賞とした。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=4TPD1nxbOPY</p>

ユニークな取り組み部門 ユニーク賞

企業・団体名	株式会社シーエーシー (東京都中央区 代表取締役社長 西森 良太)
応募タイトル	新しい働き方におけるコミュニケーション機会創出の取り組み
受賞理由	<p>1. 通勤主体と在宅勤務主体の選択制、オフィス縮小・環境整備など、時間と場所にとらわれない新しい働き方を推進する中で発生したコミュニケーションに関する課題に着目し積極的に解決に取り組んでいる。</p> <p>2. 同社が開発したツール「hashigake」は、普段交流のない同僚とのコミュニケーションを促進するユニークなアプリケーションであり、「タテヨコナメのコミュニケーションを活性化」し、社員同士の思考や行動をプラスに影響させることが期待される。</p> <p>3. 「hashigake」は人脈の広がりや、思考・行動の変化などの成果が実証されており、各社が抱えるテレワークにおけるコミュニケーションの課題解決が期待され、その独創性がユニーク賞に値すると評価された。</p> <p>【応募動画 YouTube】 https://www.youtube.com/watch?v=Y5lb5e1HyJM</p>